令和８年度屯田西小学校
【算数】

| | 本校の概要 | 課題 | 改善の方向 |
|---|---|---|---|
| 小学校　数学 | 【内容】<br>**全体の状況**<br>全国平均を下回っています。領域別では「図形」と「データの活用」で全国平均を上回っている一方、「数と計算」と「変化と関係」で全国平均を下回っています。<br><br>**「数と計算」**<br>小数の位取りや時間の計算は全国平均並みかやや上回っていますが、四捨五入による概数や異分母分数の大小比較の記述、割合の図の選択で全国を大きく下回っています。<br><br>**「図形」**<br>全国平均を上回っており、体積の意味で全国を上回ったものの、立方体の体積の立式や直方体の面の構成、直方体の辺の長さに着目した記述式問題では全国を下回っています。<br><br>**「測定」**<br>全国とほぼ同程度であり、示された情報から条件に合う時間を求める問題で高い正答率を示しています。<br><br>**「変化と関係」**<br>百分率から基準量を求める問題では全国を下回り、無解答率も非常に高くなっています。<br><br>**「データの活用」**<br>全国平均を上回っているものの、二次元の表から条件に合う数を読み取る問題の正答率が低く、二つの表から誤りの根拠を記述する問題でも全国を下回っています。 | ・基準量・比較量・割合の関係を正しく捉え、百分率で表された割合から基準量を求めたり、図と関連付けて理解したりすること。<br><br>・立方体・直方体の構成要素（辺の長さや面）や体積の求め方を確実に身に付けること。<br><br>・二次元の表や複数の表から、条件に合う数値や誤りの根拠を正確に読み取ること。<br><br>・分数の大小の理由や数量の求め方など、筋道を立てて数や言葉を用いて記述すること。 | **・割合・数量関係の視覚化**：　数量の関係を数直線やテープ図などに表して視覚的に捉えさせ、基準量や比較量を求める学習活動の充実。<br><br>**・図形要素・空間概念の定着**：　具体物や展開図・見取図などを活用し、図形の構成要素（面や辺の関係）に着目して体積や長さを考える指導の充実。<br><br>**・データ読解・根拠説明力の育成**：　目的に応じて表やグラフの項目を整理しながら必要な情報を読み取り、根拠を明確にして説明する学習活動の充実。<br><br>**・記述表現・対話の充実**：　自分の考えや求め方を式や言葉・図を用いて表現し、友達と説明し合う記述指導の充実。 |